
奇跡のヒーローニシヤマン

神崎 ゆりあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

奇跡のヒーローニシヤマン

【コード】

N3156K

【作者名】

神崎 ゆりあ

【あらすじ】

ああいえああああああ

第1話 彼の名前はニシヤマン！

ある田舎町に、奇跡のヒーローニシヤマンがいた。

何が奇跡かと言うと…

田舎すぎて、一度もヒーローっぽいことをしたことがないのだ。

なにせ、ニシヤマンが住む町（と、いうか村）は、人口約1000人余り。すれ違う人みーんな知り合い。（自称）正体不明のニシヤマンの正体は、村中の周知の事実なのであった。

しかも、ニシヤマンは村のこともたちに思いつきし馬鹿にされていた。なんともまあなさけないヒーローである。

そんな彼の唯一とも言えるヒーロー自慢は、木の上に登って降りられなくなった猫を助けたことであった。その猫は、ニシヤマンが密かに思いを寄せる村で1番美人の愛子ちゃんの溺愛していたハナコだった。彼は内心若干高いところが怖かったが、愛子ちゃんに感謝して欲しいというヒーローらしからぬ不純すぎる動機でなんとか猫を救出したのであった。

結果、元々ちよつと天然が入っちゃってる愛子ちゃんだけはニシヤマンを真のヒーローだと思いつ込んでいたのであった。しかも今まであんまりニシヤマンに興味がなかったため、彼の正体を知らない。彼が愛子ちゃんの隣の家に住んでいることを、彼女が知るのはいつのことだか…

普段のニシヤマンは、普通に学校に通っていた。愛子ちゃんと同じ

中学の3年生である。

にしやまひでお
西山英雄。

ニシヤマンの本名だ。ひでおは、『えいゆう』とも読む。このヒーローになるために付いたような名前を、英雄はいたく気に入っていた。

つてゆうがこの名前から自分をヒーローだと思い込んでニシヤマンになった。

中学3年の今日まで、彼は愛子ちゃん以外からは特に必要にされないヒーローだった。

それがいきなり…彼は本当の意味で『奇跡の』ヒーローになるのであった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3156k/>

奇跡のヒーローニシヤマン

2010年10月15日01時35分発行